

# Culib News (クリブニュース)

No.64 2010年4月1日 中京大学図書館発行

## 教養を豊かにし、専門能力を高めるため 図書館を大いに活用しよう

中京大学図書館長 棚橋 純一

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。受験勉強をはじめ様々な束縛を感じるが多かった高校時代に比べ、これからは自由な雰囲気の中京大学生活が満喫できるという期待感でいっぱいのことと思います。

さて、新たな環境においては、多様な授業を履修しながら学ぶこととなりますが、中京大学では授業科目を大きく二つの科目群に分けています。一つは教養を幅広く修得するための科目群で、全学共通科目と呼ばれるものです。もう一つは専門分野の知識・技能を修得するための科目群で、学部固有科目と言われるものです。教養と専門という二つの科目群によるカリキュラム体制、これをアルファベットのTの字になぞらえてT字型学習と呼ぶことにします。すなわちTの横棒は幅広く豊かな教養を、Tの縦棒は深く耕した高い専門能力を意味し、その両方を学びとることがT字型学習です。本学がT字型学習体制を採用しているのは、皆さんが卒業する際には、豊かな教養と高い専門能力を身につけてほしいと願うからです。

皆さんはこれから、T字型学習を通して豊かな教養と高い専門能力を身につけることを目指す訳ですが、この目標を達成するためには履修授業による学習だけでよいでしょうか。もちろん答えはNo(ノー)です。授業学習だけでは満足できるレベルの教養や専門知識・技能を身につけることは困難です。立派な社会人になるためにふさわしい豊かな教養と高い専門能力を備えるには、プラスアルファの自発的学習が必要です。

では、どうすればよいのでしょうか。それには数多くの本を読むことを提案します。教養になりそうな本をたくさん読み、専門分野の本もレベルを上げながら多く読むことを強く薦めます。先人の知識や知恵がギュッと詰まった本を多く読むことは、これからの大学生活における大きな目標を達成する大切な一助となること請け合いです。

しかし、「多くの本を読むのにはお金がかかる!」というような声が出るかもしれません。でも心配ご無用です。大学には充実した図書館が存在するからです。皆さんのT字型学習を万全に支援できるよう、中京大学図書館はふさわしい利用環境の提供に努めています。

まず、T字型学習を支援するのにふさわしい本を数多く揃えるように努力しています。Tの横棒つまり豊かな教養が育成されるよう、広い分野にわたり教養書というべき本を用意しています。またTの縦棒すなわち専門的知識や技能を高めるための専門書も、分野毎に豊富に揃えています。このために必要な予算を確保するとともに、できるだけ利用者の要望に合うものを取り揃えるよう選書にも心を砕いています。特に学生の皆さんの要望をストレートに反映させるため、毎年10名前後の学生の方に本の選書委員になってもらい、購入すべき本を直接選んでもらう試みも実施しています。

次に、図書館に備えられた本を効果的に利用していただくよう、閲覧・貸出のサービス充実にも努めています。特に利用サービスの基本尺度ともいうべき開館時間をできるだけ長くするよう心がけています。たとえば講義期間中では、名古屋キャンパスのLSCと呼ぶ図書館(もっとも利用者が多い)は夜10時まで、郊外にある豊田キャンパスの図書館でも夜8時まで開館しています。したがって授業終了後でも図書館で閲覧しながらの自発的学習が可能です。

さらに、読みたい本が大学の図書館にあるのか、ある場合はどこにあるのかなど本の検索サービスも多様で充実しています。その中心がOPACと呼ばれるサービスで、これにより読みたい本を素早く探し出すことができます。利用方法がよくわからない時には、図書館スタッフにお尋ねください。必ず親切に教えてくれるはずです。

以上述べたような利用環境を提供している本学図書館は、皆さんのT字型学習の強い味方です。そのことを実感していただくためにも、是非早い時期に図書館に立ち寄って利用してみてください。

今年は「国民読書年」です。また秋には名古屋図書館の附属新棟が完成し、本の所蔵能力が飛躍的にアップします。この記念の年から、皆さんが本学図書館を大いに活用され、教養を豊かにしつつ専門能力も高められることを期待して止みません。

---

#### 前号掲載文の一部訂正について

---

前号掲載の『ダ・ヴィンチのマドリッド手稿を愉しむ』において、「しかし本学図書館には所蔵されていなかったの」と述べました。しかし筆者の勘違いで、実は名古屋図書館の閉架に所蔵されていることがわかりました。お詫び方々「 」の部分は削除とさせていただきます。

## 児童文学の旅(15)

—宮澤賢治：東北地方・花巻—

原 昌

私が東北新幹線「新花巻」駅に降り立ったのは、1989年11月4日午後であった。仙台で第28回日本児童文学研究大会に出席してから、花巻に来たのである。この駅が開業したのが、1985年であったから、まだ真新しい。構内の案内所で、賢治記念館へはどう行くのかを尋ね、その道を辿ったが、生来の方向音痴のせい、農家の庭に突き当たってしまった。

農家の人に事情を話すと、かれは黙って軽トラックを出してきて、「乗りな！」という。

私は律儀な礼をして、トラックの車上の人となった。車が山の中腹にのぼりつめると、記念館のゲートがあり、「よだかの星」の巨碑が、私を出迎えてくれた。この素朴な親切を、私はいまも忘れえないでいる。

記念館に入ると、賢治が愛用したチェロや自筆原稿や著作本が展示されてあった。それに幸いなことに、ガイドとして来ておられた地域の研究者・岩橋春夫さんに遭遇したことである。かれは『風の又三郎』の舞台と考えられる小学校跡に案内してあげようとおっしゃった。さっそく岩橋さんの車に乗せてもらって、山に近い「米里」に行ったが、米里地域については、私の地図になく、いまだにどのあたりだったか定かでない。

賢治の生きている頃、この学校は木細工小学校と呼んだそうが、倒れそうな老朽化した一階建て校舎が残っていた。教室も当時そのままだという。ナイフの傷がついた机や壊れかけの椅子が散らかっていて、子どもたちがあばれていた様子が伝わってくるようであった。

校舎の外には、高原が広がっていて、すすきの白い穂が、何千本も、山から下りてくる風に揺られ、波打っている。北の方には、淡い藍色の空に、二輪山の面影をもつ岩手山が、くっきりと浮かんでいた。高原の秋での、一幅の美しい風景画を見る思いであった。

「風さむき岩手の山にわれらいま校歌をうたふ…」と、この山を愛した賢治は、生徒たちに思いはせながら詠っている。

翌日、私は記念館の下手にある白いイーハトブ館を訪ね、かつて依頼しておいた、賢治作品の外国語訳についての資料に接した。それから農業実践をした「羅須地人協会」移転先の花巻農業高校と、賢治が命名した「イギリス海岸」に立寄った。大暴れした北上川だったが、やや涸れているせいか、黒茶色の泥岩がところどころに露出して、奇妙な景観をなしていた。ただ川の奔流は、激しい音を立てて流れている。

賢治が農学校教師時代に、泥岩などの地質を知るために生徒たちといくどもここを訪れたところだという。

(中京大学名誉教授)



『よだかの星』詩碑

## 名古屋図書館付属新棟の建設進む

中河原 省三

名古屋図書館本館が老朽化に伴い、建て替えられることになった。新しく建てられる図書館は、現在建設が進められている「図書館付属新棟」と第Ⅱ期工事で建設が予定されている「教育研究複合棟」の一部からなり、図書の収蔵冊数や閲覧座席数も大幅に増加することになる。付属新棟は昨年8月に建設が始まり、今年7月に完成予定である。ここには、自動化積層書庫（80万冊収蔵可能）をはじめ、積層式書庫（約9万冊）貴重本書庫、事務室、館長室、会議室、コンピュータサーバー室等が入る。完成後は、現在の図書館に所蔵されている約52万冊の図書をはじめ、事務室も含めた図書館機能全てを夏季休暇中に移し替え、秋学期から第Ⅰ期工事分のみの完成ではあるが新図書館が利用できることになる。

商学部、体育学部の2学部時代から1966年に文学部、法学部が新設され4学部となり、大幅に蔵書が増えたことにより、1969年に現在の名古屋図書館が新設された。しかしその図書館もできてから41年目を向かえ、老朽化と共に更なる蔵書の増加により、ここで役目を終えることになった。その図書館が解体され、同じ場所に第Ⅱ期工事として教育研究複合棟が建設される。2012年12月完成予定のこの新棟の一階、二階部分が図書館となり、第Ⅰ期工事ですでに完成している付属新棟とが連結され、新図書館として完成することになる。

完成後の図書館は教育研究複合棟部分に閲覧カウンターをはじめ、開架図書13万冊及び閲覧席、グループ学習室等ができることになっている。また、付属新棟に設置される自動化積層書庫は、各研究室内の学内LANに接続されているパソコン端末からでも本の取り出し指示が可能で、指示を出してから2分程度でカウンターの取り出し口へ出てくる。この自動化積層書庫は関東、関西をはじめ、現在全国の17大学で導入されているが、東海地区の大学では本学が初めての導入となる。

以上のような経緯をたどり、2012年の完成まで、図書館利用者の皆様には何かとご迷惑をおかけしますが、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

（名古屋図書館事務室長）



建設中の図書館付属新棟



付属新棟の完成予想図

## 図書館で本を貸す人・借りる人

文学研究科 博士後期課程3年 鈴木 友子

当たり前の事だが、図書館には、本を貸す人と、借りる人がいる。

図書館で本を貸す人といっても、単に貸すだけが仕事ではない。図書館での業務の一つに本の貸し出しがある、というだけだ。図書館では常に新しい本や雑誌が入ってくるし、古い本も保存する。パソコンやDVDの管理をして、利用者のレファレンス（本の照会）にも応じる。マナーを守ってもらうために注意をしたり、書架整理もしなければならない。このように、図書館で行う業務は多い。だから、カウンターで働く人達は交代制で何人もいる。

図書館で本を借りる人といっても、図書館は借りる人のためだけにあるのではない。高校や中学校の図書室でも、自習室として利用する人がいただろうし、課題を調べたりしていただろう。まして大学の図書館はより幅広い分野についての、専門性の強い本が置いてある。学部によっては、レポートの時期に何人もの人が同じ本を調べたり、コピーしたりしている。図書館は本を使うところだ。借りる以外の使い方もたくさんある。本を読む事が苦手な人は、図書館に対して敷居が高いと感じるかもしれないが、娯楽としての本もある。趣味の雑誌やファッション雑誌もあるし、DVDの閲覧もできるので、ちょうどいいヒマ潰しになる。大学図書館は、利用の仕方次第でどんな風にでも利用できる。本当は便利なところなのだ。

元・本を貸す人としては、図書館の本を利用する時、分からない事は気軽に尋ねて欲しい。マナーを守ってもらえさえすれば、図書館はどんどん利用してほしい。本を借りる人としては、自分の勉強はもちろん、自分の専門分野以外の本を気軽に手に取る事ができるのがありがたい。

特に学生は、なんでもかんでも買えるわけではない。学生として通っている間に、気になる本をドンドン借りてみるべきだと思う。小さいころ読んだ本のように、わくわくする本に出会うかもしれない。

大学で学生として勉強できる事は、専門度が高いぶん、狭く深くなってしまう。見識は自分で広げていくしかない。その方法は部活やサークルでもいいし、アルバイトや旅行もいいかもしれない。しかし、どんなに学生生活が充実していると思っても、自分一人のできる事は限界がある。先人の書き残した本を通して、その人の見識を自分のものにできる……かもしれない。私は自分の専門分野に関して、林望という作家の小説を読んだ時に意外な豆知識を得たし、『聖おにいさん』というマンガの宗教的な“つっこみ所”に納得した。図書館にマンガはないが、基礎知識として宗教についての本を借りて読んだ事があったから“つっこみ所”に反応できた。些細な事だが、こんな事でも積み重なると世の中のいろんな事が身近につながってくる。図書館には、知識がたくさん詰まっている。本を貸す人はその水先案内人みたいなものだ。知識の海は本当に広い。

今まで長い間、クリブニュースに記事を書かせていただきましたが、私の担当は今回が最後です。私は中京大学の学生として図書館を利用し、アルバイトもさせてもらっていました。また文学部の大学院生として、たくさんの貴重書を閲覧し、電子図書館のお手伝いもさせていただきました。図書館で本を貸す人・借りる人として、お世話になりました。今後も利用者として、図書館を利用させていただきます。ありがとうございました。

## 『図書館を学生生活の“ど真ん中”に』

## ライブラリーサービスセンター

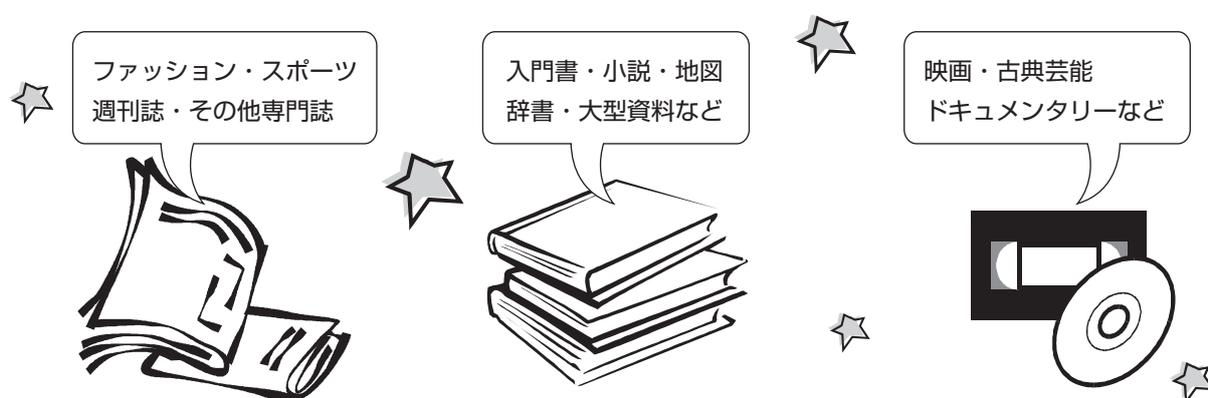
新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

皆さんは「大学図書館」と聞いてどんなイメージを持ちますか？本棚に古い本や見るからに難しそうな分厚い専門書が並んでいる、ちょっと入りにくいなどなど、こんなイメージを持っていませんか？

しかし、ライブラリーサービスセンター（以下LSC）はそんなイメージの図書館とはちょっと違います。そこでLSCの魅力 皆さんに紹介したいと思います。

LSCは学生生活の『ど真ん中』にある図書館です。

まず、LSCに所蔵されている資料はそのほとんどが「開架書庫」にあります。開架書庫では皆さんが自由に本を手にとって利用できます。言い換えれば、たくさんの本に出会えるチャンスが広がるということです。読書が好きな人はもちろん読書に苦手意識を持っている人も、本棚から本棚をゆっくり旅してみるだけで意外と簡単に「自分の一冊」が見つかるかもしれません。



開館時間は開講期であれば平日はもちろん土曜も9:00から22:00までです。中京大学にある図書館の中で一番長く開館しています。センタービルの3階にあり、3号館と渡り廊下で繋がっているので授業の合間に利用しやすいです。また、LSCは名古屋キャンパスの中心にあり、最も多くの学生が利用するので、まさに学生生活の『ど真ん中』にあるといえます。

学生生活では勉強、就職活動など図書館に足を運ばないと解決できない状況に遭遇することもたくさんあると思います。逆にいえば、図書館を使いこなすことが出来れば“とても便利なツール”になります。この『ど真ん中』にある図書館をいかに使いこなすかが学生生活の鍵となるでしょう。さらに、図書館は“自分探しのツール”にもなります。図書館の資料やスタッフを、自分探しのためにとことん使いこなしてください。私たちが全力でサポートします。もし図書館についてわからないことがあれば、遠慮なくカウンターに声をかけてください。

最後に、皆さんにお願いします。図書館では、守って欲しいルール（飲食、私語、携帯の通話など）があります。皆さんが、快適に図書館で過ごせるように、ご協力ください。

## 新着図書セレクト

\* 12月～2月の新着図書の中から、一部をご紹介します \*

	書名	責任表示	出版者	出版日付	資料ID	所在	請求記号
名 古 屋	ブランドはNippon	川島蓉子著	文藝春秋	2009.11	1127416	LSC 開架書庫	675.3/Ka 97
	湿原のアラブ人	ウィルフレッド・セシジャー著／白須英子訳	白水社	2009.11	1127417	LSC 開架書庫	382.273/Th 3
	世界は俺が回してる	なかにし礼著	角川書店	2009.12	1127423	LSC 開架書庫	913.6/N 38
	うちのご飯の60年：祖母・母・娘の食卓	阿古真理著	筑摩書房	2009.10	1127426	LSC 開架書庫	383.81/A 38
	秋日記	葉室麟著	角川書店	2009.1	1127428	LSC 開架書庫	913.6/H 26
	夜明けの橋	北重人著	新潮社	2009.12	1127429	LSC 開架書庫	913.6/Ki 61
	抱擁	辻原登著	新潮社	2009.12	1127430	LSC 開架書庫	913.6/Ts 41
	Another (アナザー)	綾辻行人著	角川書店	2009.10	1127431	LSC 開架書庫	913.6/A 98
	明日、アリのゼの浜辺で	秦建日子〔著〕	新潮社	2009.12	1127432	LSC 開架書庫	913.6/H 41
	外科医須磨久善	海堂尊著	講談社	2009.7	1127434	LSC 開架書庫	494.643/Ka 21
	史上最強の実践数学公式123 (ブルーボックス:B1661)	佐藤恒雄著	講談社	2009.12	1127435	LSC 開架書庫	410.38/Sa 85
	誰も書けなかった国会議員の話 (PHP 新書：644)	川田龍平著	PHP 研究所	2010.1	1127441	LSC 開架書庫	314.18/Ka 92
	数字のウソを見破る (PHP 新書：642)	中原英臣, 佐川峻著	PHP 研究所	2010.1	1127442	LSC 開架書庫	417/N 33
	水死	大江健三郎著	講談社	2009.12	1127445	LSC 開架書庫	913.6/O 18
	インビジブルレイン	荻田哲也著	光文社	2009.11	1127446	LSC 開架書庫	913.6/H 84
	イノベーション実践論	丹羽清著	東京大学出版会	2010.1	1127632	LSC 開架書庫	336.17/N 89
	身の上話	佐藤正午著	光文社	2009.7	1127658	LSC 開架書庫	913.6/Sa 85
	数式で学ぶ経済学 改訂版	宮阪雅幸著	税務経理協会	2010.1	1127738	LSC 開架書庫	331/Mi 82
	英語発音指導マニュアル：必携	御園和夫編集	北星堂書店	2009.11	1127743	LSC 開架書庫	375.893/E 37
	知覚・認知モデル論	渡辺利夫著	ナカニシヤ出版	2009.12	1127748	LSC 開架書庫	141.2/W 46
日本企業の国際合併行動：トロイの木馬仮説の実証分析	石井真一著	千倉書房	2009.12	1127752	LSC 開架書庫	335.36/I 75	
女性学／男性学 (ヒューマニティーズ, Humanities)	千田有紀著	岩波書店	2009.11	1127804	LSC 開架書庫	367.1/Se 58	
フリー：〈無料〉からお金を生みだす新戦略	クリス・アンダーソン著／高橋則明訳	日本放送出版協会 (NHK 出版)	2009.11	1127962	LSC 開架書庫	675/A 46	
誰かと暮らすということ	伊藤たかみ著	角川書店	2009.10	1128012	LSC 開架書庫	913.6/I 89	
ツイッター140文字が世界を変える (マイコミ新書)	コグレマサト, いしたにまさき著	毎日コミュニケーションズ	2009.10	1128013	LSC 開架書庫	694.5/Ko 26	
Twitter 社会論：新たなリアルタイム・ウェブの潮流 (新書 y：227)	津田大介著	洋泉社	2009.11	1128014	LSC 開架書庫	007.3/Ts 34	
豊 田	自殺予防の実践	高橋祥友, 竹島正編	永井書店	2009.8	0945421	豊田開架室	368.3/Ta 33
	認知症の人を在宅でいかに支えるか：心に寄りそうホームヘルパーの介護過程	石田一紀編著	クリエイツかもがわ	2009.8	0945474	豊田開架室	369.261/I 72
	自然災害と復興支援 (みんぱく実践人類学シリーズ：9)	林勲男編著	明石書店	2010.1	0946797	豊田開架室	369.3/H 4
	ゲームと犯罪と子どもたち：ハーバード大学医学部の大規模調査より	ローレンス・カトナー, シェリル・K・オルソン著／鈴木南日子訳	インプレスジャパン	2009.6	0945464	豊田開架室	371.45/Ku 94
	パターン認識 (R で学ぶデータサイエンス：5)	金森敬文, 竹之内高志, 村田昇著	共立出版	2009.10	0945842	豊田開架室	417/Ka 45
	宇宙137億年解説：コンピューターで探る歴史と進化 (UT Physics：6)	吉田直紀著	東京大学出版会	2009.8	0946142	豊田開架室	443.9/Y 86
	健康心理学入門：健康なこころ・身体・社会づくり (有斐閣アルマ：Specialized)	島井哲志, 長田久雄, 小玉正博編	有斐閣	2009.11	0945493	豊田開架室	490.14/Sh 37
	玉ねぎ健康法：あらゆる生活習慣病に効果絶大!	石原結實著	日東書院本社	2008.7	0943995	豊田開架室	498.583/I 74
	無線通信工学 (新インターユニバーシティ)	片山正昭編著	オーム社	2009.11	0947286	豊田開架室	547.5/Ka 84
	光エレクトロニクス (新インターユニバーシティ)	神保孝志編著	オーム社	2009.12	0947285	豊田開架室	549.95/J 51
	スプリントトレーニング：速く走る・泳ぐ・滑るを科学する (シリーズトレーニングの科学：6)	日本トレーニング科学会編	朝倉書店	2009.11	0945472	豊田開架室	780.7/N 71
	フェミニズム理論 (新編日本のフェミニズム：2)	天野正子〔ほか〕編集委員／斎藤美奈子編集協力／江原由美子解説	岩波書店	2009.11	0945555	豊田開架室	367.21/Sh 69/2
	何が育児を支えるのか：中庸なネットワークの強さ	松田茂樹著	勁草書房	2008.1	0945834	豊田開架室	369.4/Ma 74
	進化とゲーム理論：闘争の論理	J.メイナード＝スミス著／寺本英, 梯正之訳	産業図書	1985.7	0945833	豊田開架室	467.5/Ma 98
	子ども虐待の臨床：医学的診断と対応	坂井聖二, 奥山真紀子, 井上登生編著	南山堂	2005.1	0945993	豊田開架室	493.92/Sa 29
	近代性の構造 (シリーズ20世紀中国史：2)	飯島渉, 久保亨, 村田雄二郎編	東京大学出版会	2009.8	0946137	豊田開架室	222.07/Sh 88/2
	グローバル化と中国 (シリーズ20世紀中国史：3)	飯島渉, 久保亨, 村田雄二郎編	東京大学出版会	2009.9	0946138	豊田開架室	222.07/Sh 88/3
	現代中国と歴史学 (シリーズ20世紀中国史：4)	飯島渉, 久保亨, 村田雄二郎編	東京大学出版会	2009.10	0946139	豊田開架室	222.07/Sh 88/4
	D プレーン：超弦理論の高次元物体が描く世界像 (UT Physics：2)	橋本幸士著	東京大学出版会	2006.10	0946141	豊田開架室	429.6/H 38
	宇宙137億年解説：コンピューターで探る歴史と進化 (UT Physics：6)	吉田直紀著	東京大学出版会	2009.8	0946142	豊田開架室	443.9/Y 86
記録と表象：史料が語るイスラム世界 (イスラーム地域研究叢書：8)	林佳世子, 榎屋友子編	東京大学出版会	2005.2	0946263	豊田開架室	302.27/I 85/8	
国家と社会 (法の再構築：1)	江頭憲治郎, 碓井光明編	東京大学出版会	2007.3	0946264	豊田開架室	320.4/E 28	
男性学 (新編日本のフェミニズム：12)	天野正子〔ほか〕編集委員／斎藤美奈子編集協力／伊藤公雄解説	岩波書店	2009.12	0946179	豊田開架室	367.21/Sh 69/12	

# 2010年度 開館スケジュール

図書館の開館予定が一覧でご覧になれます。

各館ごとの臨時休館、開館時間の変更等は、HPの【お知らせ】と【ニュース&トピックス】でご案内いたします。

## 通常の開館時間

	名古屋図書館 (NL)	ライブラリーサービスセンター(LSC)	法学文献センター (LLC)	豊田図書館 (TL)
平日	9:00 ~ 19:00	9:00 ~ 22:00	9:00 ~ 19:00	9:00 ~ 20:00
土曜日	9:00 ~ 12:30		9:00 ~ 12:30	9:00 ~ 17:00

無印は通常開館日

○の開館時間 (全館 平日 9:00~17:00 土曜日 9:00~12:30)

●の開館時間 (全館 平日 9:00~16:00 土曜日 9:00~12:00)

■は休館日

●の開館時間 (定期試験月の休日開館日 10:00~17:00 (LSCのみ))

名古屋図書館 (NL)							ライブラリーサービスセンター (LSC)							法学文献センター (LLC)							豊田図書館 (TL)						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				①	②	③					①	②	③					①	②	③					①	②	③
4	⑤	⑥	⑦	8	9	10	4	⑤	⑥	⑦	8	9	10	4	⑤	⑥	⑦	8	9	10	4	⑤	⑥	⑦	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17	11	12	13	14	15	16	17	11	12	13	14	15	16	17	11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24	18	19	20	21	22	23	24	18	19	20	21	22	23	24	18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30		25	26	27	28	29	30		25	26	27	28	29	30		25	26	27	28	29	30	
						1							1												1		
2	3	4	5	6	7	8	2	3	4	5	6	7	8	2	3	4	5	6	7	8	2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15	9	10	11	12	13	14	15	9	10	11	12	13	14	15	9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22	16	17	18	19	20	21	22	16	17	18	19	20	21	22	16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29	23	24	25	26	27	28	29	23	24	25	26	27	28	29	23	24	25	26	27	28	29
30	31						30	31						30	31						30	31					
		1	2	3	4	5			1	2	3	4	5			1	2	3	4	5			1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12	6	7	8	9	10	11	12	6	7	8	9	10	11	12	6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19	13	14	15	16	17	18	19	13	14	15	16	17	18	19	13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26	20	21	22	23	24	25	26	20	21	22	23	24	25	26	20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30				27	28	29	30				27	28	29	30				27	28	29	30			
				1	2	3					1	2	3					1	2	3					1	2	3
4	5	6	7	8	9	10	④	5	6	7	8	9	10	4	5	6	7	8	9	10	4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17	⑪	12	13	14	15	16	17	11	12	13	14	15	16	17	11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24	⑮	19	20	21	22	23	24	18	19	20	21	22	23	24	18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	⑲	30	31	⑳	26	27	28	⑳	30	31	25	26	27	28	⑲	30	31	25	26	27	28	⑲	30	31
1	2	3	4	5	6	7	1	②	③	④	⑤	⑥	7	1	②	③	④	⑤	⑥	7	1	②	③	④	⑤	⑥	7
8	9	10	11	12	13	14	8	⑨	10	11	12	13	14	8	⑨	10	11	12	13	14	8	⑨	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21	15	16	17	⑱	⑲	⑳	21	15	16	17	⑱	⑲	⑳	21	15	16	17	⑱	⑲	⑳	21
22	23	24	25	26	27	28	22	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	28	22	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	28	22	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	28
29	30	31					29	㉖	㉗					29	㉖	㉗					29	㉖	㉗				
			1	2	3	4				①	②	③	4				①	②	③	4				①	②	③	4
5	6	7	8	9	10	11	5	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	5	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	5	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
12	13	14	15	16	17	18	12	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	12	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	12	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱
19	20	21	22	23	24	25	19	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	19	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	19	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕
26	27	28	29	30			26	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚		26	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚		26	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	

発行 中京大学図書館

〒466-8666 名古屋市昭和区八事本町101-2 TEL(052)-835-7157 <http://www.chukyo-u.ac.jp/tosho/> 印刷 株式会社 荒川印刷